



神戸大学交響楽団
第16回定期演奏会

第 16 回 定期 演奏 会

昭和 41 年 12 月 6 日

神 戸 国 際 会 館

指 揮	植 田 吉 波
	奥 田 伸 悟
独 奏	加 藤 和 子

神 戸 大 学 交 響 楽 団

序曲 オイリアンテ 作品 81ウェーバー

ピアノ協奏曲 第 1 番 変ホ長調リスト

速く 堂々と

ややゆっくり

やや速く 活発に

速く 行進曲風に 元気よく

———— * ————

組曲 王宮の花火の音楽ヘンデル

交響曲第 3 番 変ホ長調 「ライン」シューマン


いきいきと

スケルツォ


速くなく

壮麗に

いきいきと



名曲喫茶
らんぷる
EIOICA アンプ使用



神戸トアロード山側 TEL(33)0281

Program

Euryanthe overture op 81K.M.V Weber

Piano Concerto No.1 in E-flat Major F. Liszt

Allegro maestoso

quasi Adagio

Allegretto vivace

Allegro marziale animato

— * —

Suite From the Music for the Royal Fireworks...G. F. Handel

Symphony No. 3 in E-flat Major "Rheinische".....R. Schumann

Lebhaft

Scherzo

Nicht Schnell

Feierlich

Lebhaft



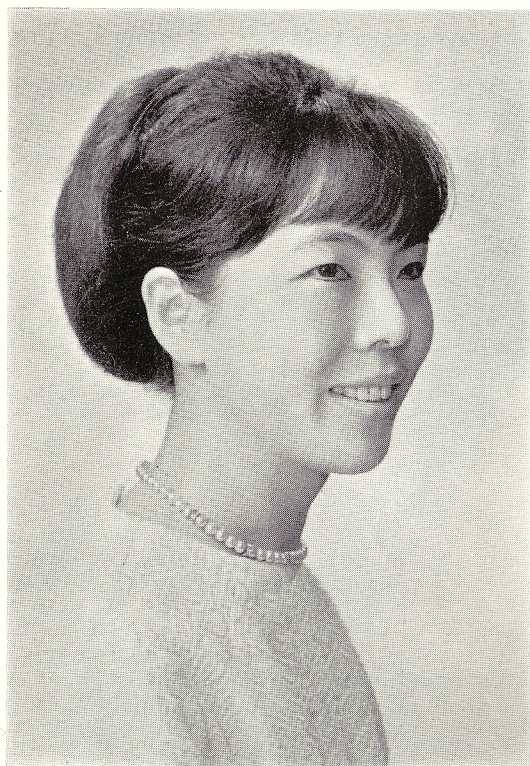
株式
会社

大 林 組

取締役社長 大 林 芳 郎

本 店 大 阪 市 東 区 京 橋 3 丁 目 75 番 地

電 話 大 代 表 (941) 8 6 1



S o l i s t
加 藤 和 子

夢と希望にふくらんだ神戸高校の入学式、私が始めて加藤和子さんを知りましたのはその時でした。

横井和子先生に師事され、高校一年の時早くも全日本学生音楽コンクール西日本第一位を獲得されました。

大阪学芸大学特設音楽課程ピアノ科を首席で卒業され、ひき続き同専攻科で学ばれる傍ら、度々演奏活動に励まれ、その実力が広く認められて、一昨年 誉あるクリティック・クラブ新人賞を受賞されました。

生まれながらの繊細な神経と豊かな音楽性に恵まれ、それに加えてたゆまぬ努力が実を結び 昨年六月の初リサイタルでは、日頃の成果を発揮され、その優れた演奏は精彩を放ち聴衆を魅了、大成功を納められました。

又、音楽を離れても、夏は水泳、冬はスキー、旅行、お菓子作り、そして今春から車の運転と、巾広い趣味からもうかがわれます様に、暖かい柔軟な人間性の持主です。これらの事を考える時、謙虚でゆったりした彼女がひとたびピアノに向えばスケールの大きな演奏家になれるのも当然と云えましょう。

彼女の今後の御活躍を期待すると共に、確信致しております。

(平方)

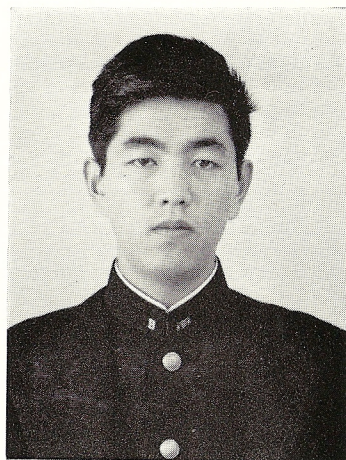
御影高校の吹奏楽部時代から指揮棒を持っています。

オケに入ったのも指揮をするためであつたらしく、その方の勉強熱心さは相当なものです。仕事と学校とオケという忙しい条件の中では、それも人しれぬ苦勞が伴なうに違いありません

こうと思ったらどこまでもという一途なところがありますがそんな一徹さが彼の原動力になっているのかもしれない。

彼がひたすら求めるものは「青い鳥」ではなくて「真赤な金色に燃える鳥」だと言う。

彼はそんな情熱家なのです。Ⅱ経営学部3年



C o n d u c t o r
奥 田 伸 悟



Conductor
植田吉波

入学した時作曲家になりたいともらした彼は、今ではどういう訳か指揮者になってしまいました。クラブに入ってから彼ほど変わった人間はいないでしょう。

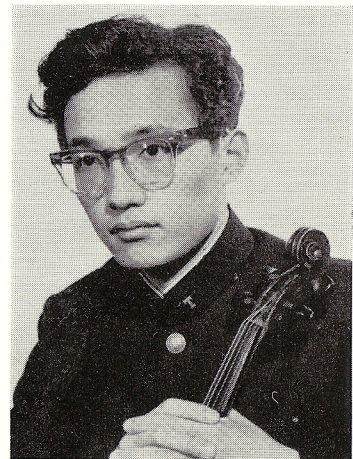
オーケストラが彼を大人にし、彼がオーケストラを育てたという、非常に恵まれた環境で、今夜の重任を終えようとしています。

ベートーヴェンの研究では部内に彼の右に出る者はまずいません彼の指揮はアマチュア楽団のその例外ではありませんが彼が指揮するとき、何を考え、何を欲しているかということは非常によくわかるのです。その点で技術的に未熟な点をカバーして余りあるものがあります。

大学院進学も決り、今後も我々の所で活躍する余地が残されていますので、これからも一曲程度は振って欲しいと思います。

理学部生物学科、遺伝学講座で藤井、湯木両先生のもとに枯草菌の研究でクラブ活動以外の時間を費しています。(勝部)

彼の近所に下宿している友人が云いました。「あいつの家の前を通ると、いつでもヴァイオリンの音がしているよ。」それ程彼は熱心なヴァイオリン弾きです。高校時代はどちらかといえば、可愛い坊ちゃんのようなイガグリ頭が、大学入学と同時にお祖父さんが、日露戦争より持ち帰った、ロシア人の怨みのこもる？愛器をひっさげて、我々の所へ登場したのです。若冠二年生からコンサート・マスターの重責を果し続けることができたのは、彼が私淑する唯一の師シゲッティの無言の指導により、たゆまず練習を繰返したからに他なりません。大学院進学も決まり、今後も我々のために活躍してくれるでしょうが、一言彼に望みたいのは、正確なだけでなく、巾の広い演奏ができるようになってほしいということです。工学部電気科第五講座堀先生の下で研究とソフトボールにいそしんでいます。(勝部)



Concert master
鳥丸安雄